

沿革

- 1988年4月 音楽・デザイン・広報分野のクリエイター養成校として、「東京コミュニケーションアート専門学校」開校。
- 1989年4月 デザインの実習授業を中心に行う新校舎を増築。
- 1990年4月 デザイン科を工業デザイン科に変更。
- 1991年4月 世界的に通用するアーティスト養成のため、MIプロミュージシャン科を設置。同時期にアメリカのミュージシャン養成校と提携。
グラフィックデザイン科を設置。
- 1993年4月 ダンス&インストラクター科を設置。
また、これからのマルチメディア時代に対応したクリエイター養成を目的とした、コミュニケーション科を設置。
- 1996年4月 自動車デザイン科、産業デザイン科、生活デザイン科、マルチメディアアート科、マスコミ広報科、マンガ科、ダンス科、ミュージカル科を設置。
- 1997年4月 イラストレーター科、インテリアデザイン科、CGアニメーター科を設置。
マルチメディアアート科をゲームクリエイター科へ、商業音楽科3年制を音楽プロデューサー科へ変更。
- 2000年4月 TCA音楽系学科が分離独立し、「東京スクールオブミュージック専門学校」として4月に開校。プロミュージシャン科、ダンス&アクターズ科、音楽テクノロジー科、メディア・ビジュアルデザイン科、TSM研究科を設置。
- 2008年4月 高度芸術学科(4年制)を設置。
- 2009年3月 メディア・ビジュアルデザイン科を廃科。
- 2014年3月 高度芸術学科を廃科。
- 2014年4月 「東京スクールオブミュージック&ダンス専門学校」へ校名変更。
高等課程 総合音楽科を設置。
- 2019年4月 専門課程を時間制から単位制へ変更。
- 2020年4月 スーパーeエンターテイメント科(4年制)を設置。